

2015 年度

東京学芸大学 留学生センター

年 報

## はじめに

大学が高度な教育・研究の拠点となるべきことはもちろんですが、加えて本学は、優れた学校教員および教育人材養成という使命を担っています。グローバルな視野や感覚をもった教員・人材が求められる一方で、教員養成というドメスティックな枠組みを尊重することも要請されます。これらは決して対立するものではありませんが、全学的な教育体制を考える上で折り合いをつけるのが難しいこともしばしばあります。しかし地に足のついた教員や人材にとって、グローバル・ローカル双方の視点は間違いなく必要であり、客観的かつ相対的・多角的な見方・考え方は欠かせません。私個人も留学生から学んだことの第一は、異なる立場・視点からの見方・考え方でした。

そうした見方・考え方を醸成する方策の一つは海外体験や国際交流の機会を増やすことですが、ここ数年、派遣学生数は停滞傾向にあります。2015年度に学生交流協定を結んでいる50の海外協定校へ派遣された本学学生・院生は38名であり、うち学部教養系の学生が約7割、教育系は9名、院生2名でした。しかしながら、今年度から当センターが開設した教養科目「多文化共修科目」や、短期留学プログラムの開発等も進められつつあり、学生が多様な形で多文化に接する機会は今後ふえていくことがおおいに期待されます。

一方、本学はここ数年毎年約300名弱の留学生を受け入れており、彼らの存在と意味を問い直すこともまた重要です。2015年度は286名の留学生を受け入れ（10月時点、正規・非正規含む）、これは全国の教員養成系大学の中ではとびぬけて多い数です。留学生の内訳は大学院レベルが162名と全体の約57%を占め、修士課程に71名、博士課程に12名在籍しています。出身国・地域別では中国が全体の約55%、次いで韓国が約13%を占めますが、全体では36の国・地域に及び、文化的多様性も大きいです。多くの留学生が修了後、母国の教育現場や国内外の社会で活躍しており、その人的資源は本学にとり極めて貴重といえましょう。

留学生への充実した日本語教育や日本理解科目の提供をはじめ、留学生の学習・研究ならびに生活支援、留学生と一般学生との相互理解・協働を促す取り組みは、当センターが毎年意欲的に取り組んでいる課題です。留学生に、専門研究にくわえ、日本の社会・文化に対する認識・理解を深めてもらうことは、国家間の相互理解を築く地道なしかし堅実な歩みとなることは想像に難くありません。留学生を、学芸大という場や時間を共有するメンバーと認識し、学びあいをより充実させることが全学的に求められていると思われます。

最後に、常日頃、留学生の研究指導や修学・生活サポートなどさまざまな形でご協力くださっている教職員、学生、地域の皆様にこの場を借りて心より御礼申しあげます。今後も留学生センターの活動に一層のご協力・ご支援を賜りますよう切にお願い申しあげます。

東京学芸大学留学生センター長  
椿 真智子

## 目 次

はじめに-----	1
1. 全学留学生対象の事業 -----	4
1.1 日本語科目の構成	
1.2 日本語 1～3：開講枠数およびプレースメントテスト受験者数	
1.3 日本語 1～3：レベル別開講科目および枠数（春学期）	
1.4 日本語 1～3：レベル別開講科目および枠数（秋学期）	
1.5 日本語 4・5：レベル別開講科目（日本語集中コース）	
1.6 日本理解科目開講枠数	
1.7 留学生による授業評価	
1.8 見学・交流および生活支援事業	
2. 国費研究留学生および教員研修留学生対象の事業 -----	8
2.1 日本語集中コース（予備教育）受入れ国費研究留学生	
2.2 2014 年度入学教員研修留学生および研究発題目	
2.3 2014 年度入学教員研修留学生 主な行事	
2.4 2015 年度入学教員研修留学生	
2.5 2015 年度入学教員研修留学生 主な行事	
3. 日本語日本文化研修プログラム留学生(日研生)対象の事業 -----	10
3.1 2014 年度 10 月入学日研生および修了レポート題目	
3.2 2014 年度 10 月入学日研生 主な行事	
3.3 2015 年度 10 月入学日研生	
3.4 2015 年度 10 月入学日研生 主な行事	
4. 短期留学プログラム（短プロ/ISEP）留学生対象の事業 -----	13
4.1 2014 年度 10 月入学短プロ/ISEP 生および個人研究題目	
4.2 2014 年度 10 月入学短プロ/ISEP 生 主な行事	
4.3 2015 年度 10 月入学短プロ/ISEP 生	
4.4 2015 年度 10 月入学短プロ/ISEP 生 主な行事	
5. その他の活動 -----	15

6. 教員の教育・研究活動	16
資料1 日本語科目一覧	26
資料2 日本理解科目一覧	30
資料3 短期留学プログラム科目一覧	30
資料4 主な行事の写真	32
資料5 教員研修・日研生・ISEP各プログラム概要	33

## 1.全学留学生対象の事業

### 1.1 日本語科目の構成

	授業形態	必修・選択の別	クラスの決定方法
日本語 1	一般 1科目当り 週2時間	選択	全学日本語プレースメントテストならびにCan-do statements 調査による
日本語 2			
日本語 3			
日本語 4	集中 週12時間 [日本語4] 週28時間 [日本語5]	国費研究留学生・教員研修留学生で日本語能力の低い者は必修	学習歴調査による
日本語 5			

### 1.2 日本語 1～3：開講枠数およびプレースメントテスト受験者数

	春学期	秋学期	計
開講枠数	35 (枠)	34 (枠)	69 (枠)
プレースメントテスト受験者数	135 (人)	138 (人)	273 (人)

### 1.3 日本語 1～3：レベル別開講科目（春学期）

	総合	作文	講読	会話	漢字	聴解	文法	発音	特別演習	プロジェクト	計
日本語 1	1	1*	2	1*	1	1	1	1	1*	1**	11
日本語 2	1	2	2	2	1	1	1		2		14
日本語 3	2	1	2	2	1	1	1	-	-	-	10

\*これ以外に日本語教育教室で開設している正規の日本語科目が各1枠ある。

\*\*学部開設科目「学芸フロンティア科目F」との合同授業

### 1.4 日本語 1～3：レベル別開講科目（秋学期）

	総合	作文	講読	会話	漢字	聴解	文法	発音	特別演習	プロジェクト	計
日本語 1	1	1*	2	1*	1	1	1	-	3*	-	11
日本語 2	1	2	2	2	1	1	1		2		12
日本語 3	2	1	2	2	1	1	1	-	1	-	11

\*これ以外に日本語教育教室で開設している正規の日本語科目が各1枠ある。

### 1.5 日本語４・５：レベル別開講科目（日本語集中コース）

	学期	開講枠数（科目別内訳）	受講者数（身分別内訳）
日本語４	春	6 枠/週 (総合５・漢字１)	7 名 (教員研修生 1 研究生 1 交換留学生 5)
	秋	6 枠/週 (総合５・漢字１)	3 名 (ISEP 生 1 研究生 1 交換留学生 1)
日本語５	春	12 枠/週 (総合８・文字２・聞き取り１・作文１)	1 名 (研究留学生 1)
	秋	14 枠/週 (総合８・文字２・会話２・聞き取り１・作文１)	9 名 (教員研修生 8 ISEP 生 1)

### 1.6 日本理解科目開講枠数

	春学期	秋学期	計
多文化共修科目 (留学生センター & 学部開設)	2	2	4 (枠)
日本理解 (留学生センター開講)	4	4	8 (枠)

### 1.7 留学生による授業評価

春学期全体集計結果		問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16
回答総数	平均	4.83	4.64	4.49	4.59	4.78	4.69	4.73	4.74	4.74	4.68	3.08
438	標準偏差	0.51	0.67	0.92	0.76	0.63	0.70	0.67	0.64	0.63	0.71	0.67

秋学期全体集計結果		問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16
回答総数	平均	4.77	4.60	4.51	4.59	4.80	4.67	4.72	4.74	4.69	4.67	3.06
527	標準偏差	0.57	0.73	0.80	0.75	0.56	0.70	0.64	0.63	0.68	0.70	0.61

[アンケート項目]

問 6. 授業科目名や目標にあった授業内容だった。	[ 5 4 3 2 1 ]
問 7. 授業内容がよく理解できた。	[ 5 4 3 2 1 ]
問 8. 興味を持って受講できた。	[ 5 4 3 2 1 ]
問 9. 新しい知識・能力・技能が身についた。	[ 5 4 3 2 1 ]
問 10. 教員は熱心だった。	[ 5 4 3 2 1 ]
問 11. 教員の指示はわかりやすかった。	[ 5 4 3 2 1 ]
問 12. 教員の説明は適切だった。	[ 5 4 3 2 1 ]

- 問 13. 教員は質問にわかりやすく答えてくれた。 [ 5 4 3 2 1 ]
- 問 14. 教員の話し方は聞き取りやすかった。 [ 5 4 3 2 1 ]
- 問 15. 教材は適切だった。 [ 5 4 3 2 1 ]
- 問 16. (日本語のクラスについて聞きます。) あなたにとってこのクラスは、  
 [5:むずかしすぎた 4:むずかしかった 3:ちょうどよかった 2:やさしかった 1:やさしすぎた]

### 1.8 見学・交流事業および研究・生活支援事業

事業内容	実施日	参加者数(延数)
新入学生オリエンテーション	4月6日・10月7日	49名・97名
新入生ウエルカムパーティ	4月6日・10月7日	春:約30名 秋:約40名
自転車安全教室	4月8日、10月14日	春:4名 秋:6名
国際交流合宿	7月30日～7月31日、 千葉県館山市	学生33名 (日本人15、 留学生18)、 引率教員2名
落語鑑賞教室	5月13日	50名
歌舞伎鑑賞教室(教研生、ISEP)	6月10日	学生18名 (教研生9名、 ISEP生9名)、 引率教員2名
歌舞伎ワークショップ	12月2日	50名
大相撲見学	2月7日、両国国技館	学生24名、 引率教員1名
国際交流カフェ(学芸カフェテリアランチ講座)	毎週金曜日昼休み 春学期:全13回 秋学 期:全11回、春の散歩: 4月29日(水)参加19 人(日4人、留15人)、 紅葉狩り:12月2日(水) 4限:参加16人(日6 人、留10人)	春学期: 日本人108名、 留学生113名 秋学期: 日本人42名、 留学生27名

海外の学校教育事情 Education and Culture Abroad (学芸カフェテリアランチ講座)	春学期毎週1回 (計9回)	協力教研生9名 春学期： 日本人42名、留 学生68名
欧州カフェ (学芸カフェテリアランチ講座)	毎週月曜日昼休み 春：全12回、秋：全9 回	春学期： 日本人111名、 留学生79名 秋学期： 日本人48名、 留学生36名
アジアカフェ (学芸カフェテリアランチ講座)	春学期：全12回、秋学 期全12回	春学期： 日本人114名、 留学生184名 秋学期： 日本人80名、 留学生146名
留学生支援交流室	春学期：毎週月4限、火 3、4限、水4限(計48 回)、 秋学期：毎週月4限、火 3、限、水4限(計36 回)	春学期： 日本人190名、 留学生240名 秋学期： 日本人29名、 留学生82名
留学生センター主催講演会「無国籍を生きる」：講師 早稲田大学准教授、無国籍ネットワーク代表 陳天璽氏	11月25日(水)4限	日本人学生10 名、留学生34 名、教員7名
多文化交流合宿	1月23日(土)、24日 (日)場所：八王子セミ ナーハウス	日本人学生12 名、留学生26 名、 引率教員2名

## 2. 国費研究留学生および教員研修留学生（教研生）対象の事業

### 2.1 日本語集中コース（予備教育）受入れ国費研究留学生

氏名	国籍	予備教育修了後の配置大学	受入期間
Michelle Abdo Kanaan	レバノン	日本大学	春学期

### 2.2 2014 年度入学教員研修留学生および研究発表題目

氏名	国籍	指導教員
個人研究題目		
Estri Purna Adiyanti	インドネシア共和国	粕谷 恭子
<i>Improving Writing Skill Through Task-Based Learning for Vocational High School in Indonesia</i>		
Thipboonsri, Nuttida	タイ王国	谷部 弘子
タイ人日本語学習者に対する連想法によるひらがな指導について		
Yu, Jacin (劉 在人)	大韓民国	岩田 康之
韓国の閉鎖制小学校教員養成の再検討		
Moon, Hyesoo (文 希修)	大韓民国	松川 誠一
日本の環境教育の事例		
Kim, Chohee (金 草希)	大韓民国	鎌田 正裕
韓国と日本の小学校の理科教育における安全指導に関する内容の比較・分析及び安全教材の開発		
Masanque, Nanette Ferreras	フィリピン共和国	中村 光一
<i>Improving Mathematics Teaching Through Kyozaikenkyu, A Key Element in Japanese Lesson Study</i>		
Arrogante, Robert Gloriane	フィリピン共和国	浅沼 茂
<i>School Based Curriculum Development: The Case of the Period of Integrated Study in Honcho Elementary School</i>		
Holgado Sanchez, Rocio Belen	スペイン	渋谷 英章
<i>A Comparative Study between Japanese and Spanish Education</i>		
Amoussou, Agbewonou	ベナン共和国	渋谷 英章
<i>Management of Public Secondary Schools in Benin: What can be learnt from Kokubunji High School in Tokyo?</i>		

\* 『2014.10～2015.3 教員研修留学生 研修レポート集』として刊行予定

### 2.3 2014 年度入学教員研修留学生 主な行事

- 4月09日 オリエンテーション II
- 6月10日 歌舞伎鑑賞教室（国立劇場）
- 2月29日 教員研修プログラム発表会・修了式

#### 2.4 2015 年度入学教員研修留学生

氏名	国籍	指導教員	予備教育受入
Muhardina, Mirna	インドネシア	島田めぐみ	
Hasna, Shafa Gita Pramesari	インドネシア	斎藤ひろみ	
Lomsri, Thirat	タイ	斎藤ひろみ	
Sim, Suhyun	大韓民国	岡智之	
Kim, Seolli	大韓民国	見世千賀子	
Jeon, Minyoung	大韓民国	粕屋恭子	
Taro, John Selwyn	ソロモン諸島	末松祐基	2015 秋学期
Kudabekov, Murat Sementaevich	キルギス	斎藤ひろみ	
Ljuljovic, Vedrana	クロアチア	加賀美雅弘	2015 秋学期
Vu j aklija, Milijana	セルビア	末松祐基	2015 秋学期
Titiati, Isaac	ガーナ	渋谷英章	2015 秋学期
Agunga, Shem Odhiambo	ケニヤ	中島裕昭	2015 秋学期
Hissame, Sanaa	モロッコ	渋谷英章	2015 秋学期
Yu, Ziya	中国	前原健二	2015 秋学期
Ding, Anlian	中国	林尚示	2015 秋学期

(計 15 名)

#### 2.5 2015 年度入学教員研修留学生 主な行事

10 月 08 日	オリエンテーション
11 月 11 日	防災館訪問
12 月 09 日	附属竹早小学校訪問
01 月 20 日	江戸東京たてもの園

### 3. 日本語日本文化研修留学プログラム留学生（日研生）対象の事業

#### 3.1 2014 年度 10 月入学日研生および修了レポート題目

氏名	国籍	指導教員
修了レポート題目		
スーンケットブン チャッチャモン	タイ	岡 智之
日本におけるオタクに関する心理 ―声優ファンを例として―		
グエン・ティ・ホエ	ベトナム	谷部 弘子
東京学芸大学の学生の留学に関する意識		
グエン ティ ラン フォン	ベトナム	許 夏玲
日本語の終助詞とベトナム語の感嘆詞 ―ベトナム語を母語とする日本語学習者を対象に―		
グエン バン フォン	ベトナム	島田めぐみ
日本製品に対するベトナム人消費者の反応		
チン コング タイン	ベトナム	斎藤 純男
日本の道德教育について		
レー テュー ターオ	ベトナム	岡 智之
日本とベトナムの大学生の平日生活時間配分の実態		
ボンダレンコ エリアナ	ウクライナ	谷部 弘子
コマーシャルにおける方言使用の特徴		
アヌーフリエヴァ インナ	ウクライナ	許 夏玲
言語の勉強方法としてのツイッター ―日本語を事例に―		
ジュラエワ マルハボ	ウズベキスタン	島田めぐみ
子どもの言葉		
クロデル ソフィー	フランス	佐伯 英子
現代文学の女性作家と日本社会		
クツァロヴァ エレナ	ブルガリア	斎藤 純男
漫画とオノマトペ ―日本語とブルガリア語の比較―		
ヴォルニャク マウゴジャタ	ポーランド	谷部 弘子
和楽器に対する大学生の興味・関心や知識の不足について		
プオチェンニク エヴァ	ポーランド	島田めぐみ
西洋クラシック音楽における日本の影響		

ブラジツァ ドミニカ	ポーランド	斎藤 純男
日本語の格助詞とポーランド語の格の対照		
ブラジニコワァ ダリア	ロシア	岡 智之
日本の軍歌とそれに対する若者の知識		
コウ ウイ / 勾 宇威	中国	有澤 知乃
「いただきます」からみた日本人の感謝意識と宗教観念		
アンドラシー フノール	スウェーデン	許 夏玲
日本昔話に見る英雄の普遍理論		
カピツァ ティナ ユリア	ドイツ	島田めぐみ
「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」と日本の同性カップルへの影響		
ゴー アモリ フィリップ バティスタン	フランス	斎藤 純男
外国人に対するフォーカスの「が」の教授法		
シンラパソーン ニッチャナン	タイ	許 夏玲
「腐女子」に関するタイ人の考えと日本人の考えの比較		
サイ カ / 崔 香	中国	谷部 弘子
若者によることわざと成句の解釈の変化		

\* 『2014.10～2015.8 日本語日本文化研修留学生 研修レポート集』として刊行 (計 21 名)

### 3.2 2014 年度 10 月入学日研生 主な行事

4 月 29 日	武蔵野プレイス (武蔵野市) 体験
5 月 13 日	落語鑑賞教室
5 月 27 日	和菓子作り (講師: 亀屋 海老原康二氏・満氏)
6 月 03 日	JAXA 調布航空宇宙センター 見学
6 月 10 日	講義: 日本の宗教について (講師: 藤井健志副学長)
6 月 17 日	小澤酒造・かんざし美術館 (青梅市) 見学
7 月 04 日	国会議事堂見学&議員との懇談
7 月 30 日	研究レポート発表会, 日研生プログラム閉講式

### 3.3 2015年度10月入学日研究生

氏名	国籍・所属大学	指導教員
ハイルン アル ラシド	インドネシア・北スマトラ大学	許 夏玲
ムハンマド イチュワン オクタヴィアン	インドネシア・国立ジャカルタ大学	島田めぐみ
チョウティナワノン チャリワン	タイ・シラパコーン大学	佐伯 英子
フデュンヤワッチャナーノン ボワーラック	タイ・シーナカリンウィロート大学	岡 智之
タンチャラン シリワン	タイ・カセサート大学	谷部 弘子
テイ ショウコウ	中国・東北師範大学	許 夏玲
チャン ジークワン ユイ	中国(香港)・香港城市大学専上学院	谷部 弘子
ナンキンミョーテツ	ミャンマー・マンダレー外国語大学	島田めぐみ
ヤン アウン カイン	ミャンマー・マンダレー外国語大学	斎藤 純男
チンバット ビャンバジャルガル	モンゴル・国立科学技術大学	許 夏玲
ムフトロフ ドストン	ウズベキスタン・タシケント国立東洋学大学	岡 智之
アルマン ライネ	エストニア・タリン大学	斎藤 純男
ジェリニスカ キンガ スタニスラヴァ	ポーランド・アダム・ミツキェヴィチ大学	谷部 弘子
アッパースイ ミトラ	イラン・テヘラン大学	島田めぐみ
ドゥンバイ エスィン	トルコ・チャナッカレオンセキズマルト大学	斎藤 純男
ブアンソッチューン パーチャリー	タイ・シラパコーン大学	岡 智之
ヘルマンソ ベニータ ジョセフィン	スウェーデン・ヨテポリ大学	岡 智之
ウムラント ルイーザ アレッサンドラ	ドイツ・ハイデルベルグ大学	谷部 弘子
シャ レイ	中国・北京師範大学	斎藤 純男
デブレシャン マリーヌ エディット マドレーヌ	フランス・東洋言語文化大学	島田めぐみ

(計 20 名)

### 3.4 2015年度10月入学日研究生 主な行事

11月04日 立川防災館にて体験学習

11月11日 コカコーラ多摩工場見学

11月25日 講演：無国籍を生きる

(講師：陳 天璽早稲田大学国際教養学部准教授)

12月02日 歌舞伎ワークショップ (講師：劇団前進座)

- 12月09日 附属小金井小学校との交流授業（第1回）
- 12月09日 文楽鑑賞教室（国立劇場）
- 01月06日 江戸東京たてももの園 & 「正月の昔あそび」見学
- 01月20日 附属小金井小学校との交流授業（第2回）
- 02月15日 都立淵江高校にて交流と日本文化体験

#### 4. 短期留学プログラム（短プロ/ISEP）留学生対象の事業

##### 4.1 2014 年度 10 月入学短プロ/ISEP 生および個人研究題目

氏名	所属大学	指導教員
個人研究題目		
WANG Ziyang (王 紫嫣)	Beijing Normal University (北京師範大学)	浅野智彦
Internet Usage and Internet Addiction Disorder of Chinese and Japanese Students		
WONG Hong Yin (王 康然)	The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	浅野智彦
Baseball Fever – Why are fans crazy about professional baseball: A comparative analysis between fans of <i>Yomiuri Giants</i> and <i>Tokyo Yakult Swallow</i>		
YEUNG Ching Man (楊 チン雯)	The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	苦米地伸
Why do some Japanese women self-identify as otaku?		
CHOW Wan Ki (周 オン琦)	The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	浅野智彦
The Cultivation of Expertise in Illustration of <i>Doujin</i> Illustrators in Japan		
YAN Jia-Ying (顔 佳瑩)	National Taiwan University (国立台湾大学)	佐々木幸寿
The perceptions and attitude towards nuclear power plants among university students in Japan and Taiwan		
BROWN Taylour Nicole	Ball State University	島田めぐみ
Acquisition of Indirect Speech Acts in Japanese English as a Second Language (ESL) Learners		
NISHIMOTO Anela Lani	University of Hawai'i at Hilo	斎藤純男
The Effect of Study Abroad		
NG Carmen	University of Western Sydney	見世千賀子
International Schools in Australia and Japan		
NOBLE Noly	Victoria University	戸田孝子
The Stepping Stones of Education - A discussion of Japanese teaching methodology in elementary schools		
SÖÖT HANSEN Joachim Alexander	University of Gothenburg	川崎誠司
Creating the Citizens of Tomorrow: A comparison of the Japanese and Swedish curriculums regarding goals in creating national identity		
HUBER Roland	University of Heidelberg	杉森伸吉
Ping Pong Psychology: Comparison of a German <i>Verein</i> and a Japanese <i>bukatsu</i>		
OTTMANN Jenny	Universität Erlangen-Nurnberg	大井田義彰
Desire and Fear - Abe Kōbō's View on Modernity in "The Woman in the Dunes"		

(計 12 名)

\* 『ISEP Individual Study 東京学芸大学短期留学プログラム個人研究レポート集 Autumn 2014-Spring 2015』として刊行

#### 4.2 2014年度10月入学短プロ／ISEP生 主な行事

- 5月13日 落語ワークショップ
- 6月10日 歌舞伎鑑賞教室
- 7月8日 フジテレビ見学
- 8月3日 個人研究発表会・閉講式

#### 4.3 2015年度10月入学短プロ／ISEP生（10名）

氏名	所属大学	指導教員
QIU Mengdie (邱 夢蝶)	Nanjing Normal University	渡邊正樹
CAO Yaman (曹 亞曼)	Nanjing Normal University	林尚示
KAO Yu-Jie (高 于捷)	National Taiwan University	伊藤由希子
LEE Chen-Yu (李 振宇)	National Taiwan University	渋谷英章
WU Mei-Shiuan (吳 玫萱)	National Taichung University of Education	太田朋宏
DIXON Amber Marie	Eastern Michigan University	馬場哲生
SNIDER Nicole Jo	Eastern Michigan University	伊藤由希子
DIXSON Jory Thomas	Victoria University	菅美弥
LEE Trevor	University of Western Sydney	許夏玲
KOKTAY Sonay	University of Heidelberg	白倉美里

#### 4.4 2015年度10月入学短プロ／ISEP生 主な行事

- 10月7日 開講式
- 11月11日 立川防災館
- 11月18日 常盤小学校とのビデオ中継によるコミュニケーション授業
- 12月2日 歌舞伎ワークショップ
- 12月9日 附属竹早小訪問
- 1月13日 茶道ワークショップ

## 5. その他の活動

- Facebook : Tokyo Gakugei University Alumni Network of International Students (2012年3月29日開設) のページを引き続き運営し、周知に努めた。
- 教育研究整備充実費の配分を受け、2006年度制作された初中級日本語学習者対象の漢字 IT 自習教材 (英語版) を更新した。
- 留学生チューター登録者の人材バンクを活用し、留学生センターへのサポート体制 (課外活動の引率、補助など) を整えた。
- 国立大学法人留学生指導研究協議会に参加した (東京[7月]、大阪大学[2月3日]) 。
- 小金井市主催の外国人スピーチコンテストへの後援と協力を行った (7月11日) 。
- 小金井第四小学校こども祭りで留学生コーナーを設け、小学生との交流を図った (6月19日) 。
- 刊行物
  - (1) 『2014年度 東京学芸大学留学生センター年報』
  - (2) 『2013.10-2015.3 教員研修留学生研修プログラム最終報告書』
  - (3) 『2014.10-2015.8 日本語日本文化研修留学生修了レポート集』
  - (4) 『ISEP Individual Study 東京学芸大学短期留学プログラム個人研究レポート集 Autumn 2014-Spring 2015』
  - (5) 2015年度留学生センター通信 第1号を発行した。

## 6. 教員の教育・研究活動

### ■有澤知乃（2014年度分、2015年度は育休。）

【所属部門】 日本理解教育部門

【研究分野】 民族音楽学，日本研究

#### 【研究活動】

##### ② 論文

1. 「中華学校における音楽教育－横浜山手中華学校と横浜中華学院を事例として－」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系 II』66集，pp.205-215, 2015年2月

##### ③ 口頭発表

1. ‘The Roles of Music in ‘Ethnic Education’ at Overseas Chinese Schools in Japan’, International Council for Traditional Music, International Symposium of Study Group of Music of Minorities, National Ethnology Museum, Osaka 19-23 July, 2014

#### 【教育活動】

留学生センター開講科目

（春学期） Exploring the Cultural Diversity of Japan (I), Traditional Performing Arts of Japan, ISEP Seminar (II), 「日本研究演習B」

（秋学期） Exploring the Cultural Diversity of Japan (II), Introduction to Japanese Music , ISEP Seminar (I), 「日本研究B」

大学院開設科目

（春学期）「地域研究教育内容基礎研究法」

#### 【その他の活動】

##### ①学内

1. 留学プログラム実施部会委員

##### ②学外

1. 科学研究費補助金 若手研究 (B) 「横浜中華街の民族芸能グループにおける華僑のジェンダー意識－アイデンティティ形成のプロセス－」 (研究代表者)
2. 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「e-Japanologyの構築に向けた基礎的研究」 (研究分担者)

#### 【所属学会】

International Council for Traditional Music, 東洋音楽学会, 日本音楽学会

## ■岡 智之

【所属部門】 日本理解教育部門

【研究分野】 認知言語学、対照言語学、日本語文法

【研究活動】

### ① 論文

「多文化共修科目の挑戦：2015年春学期「異文化理解とコミュニケーション」の授業実践と振り返り」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系Ⅱ』第67集、2016年2月、pp377-397.

### ② 口頭発表

「場の観点から認知を捉えるー主観的把握と客観的把握再考」日本認知言語学会第16回大会（9月13日同志社大学、大塚正之と共同発表）

【教育活動】

留学生センター開講科目

（春学期）日本語2文法

（秋学期）日本語1文法、日本語3文法

学部開講科目

（春学期）日本語教育と言語学、多文化共修科目A「異文化理解とコミュニケーション」

（秋学期）多文化共修科目B「多文化社会とコミュニケーション」

大学院開設科目

（春学期）言語学特論C

（秋学期）言語学特論D

ゼミ等

（春学期）卒論・修論ゼミ

（秋学期）卒論・修論ゼミ、多文化社会研究ゼミ

【その他の活動】

### ① 学内

1. キャンパスライフ委員会委員

2. 教育実習連絡教員

3. 「戦場ぬ止み」上映実行委員会委員長（教職員組合・生活協同組合共催、学芸カフェテリア協賛）（12月23日（水）3回上映）

4. 学芸カフェテリア講座「ワールドカフェ：世界のお正月料理を楽しもう！」企画運営（1月30日（水）昼休み）

② 学外

1. 科学研究費基盤研究（C）「言語コミュニケーションにおける場の理論の発展」（研究分担者）
2. 「場の言語・コミュニケーション研究会」事務局長
3. 日本認知言語学会理事

【所属学会】

日本認知言語学会（理事）、日本言語学会、日本語教育学会、異文化間教育学会、国立大学留学生指導研究協議会

## ■ 齋藤純男

【所属部門】 日本語教育部門

【研究分野】 言語学，音声学

【研究活動】

### ④ その他

1. 『明解言語学辞典』三省堂、2015年8月（共編著）

【教育活動】

留学生センター開設科目

（春学期） 「日本語1・2（発音A）」，「日本語5（漢字A1）」，「日本語5（漢字A2）」，「多文化共修科目C（世界の言語と文化）」

（秋学期） 「日本語3（作文B）」，「日本語5（漢字B1）」，「日本語5（漢字B2）」

大学院開設科目

（秋学期） 「地域研究教育内容基礎研究法(cr)（中央ユーラシアの諸言語・諸民族）」

【その他の活動】

### ① 学内

1. 協定校コーディネーター（ヨテボリ大学、ウメオ大学）
2. 入学者選抜専門委員会委員

### ② 学外

1. 日本音声学学会（評議員、編集委員長代理）
2. 日本モンゴル学会（理事）

【所属学会】

日本言語学会，日本音声学学会，International Phonetic Association，日本音韻論学会，日本語学会，The Altaic Society of Korea，日本モンゴル学会，The Mongolia Society

## ■佐伯英子

【所属部門】 日本理解教育部門  
【研究分野】 社会学、ジェンダー

### 【教育活動】

留学生センター開設科目

(春学期) Tokyo – A Multi-disciplinary Approach, Exploring the Cultural Diversity of Japan (I), ISEP Seminar (II), 「日本研究演習 C」

(秋学期) Inequality and Social Policies, Exploring The Cultural Diversity of Japan II, ISEP Seminar (I), 「多文化共修科目 D」

### 【その他の活動】

①学内

1. 留学プログラム実施部会委員
2. 東京学芸大学次世代教育研究推進機構「日本における次世代対応型教育モデルの研究開発」プロジェクト プロジェクトメンバー

### 【所属学会】

Association for Asian Studies, American Sociological Association, 日本医史学会

## ■島田めぐみ

【所属部門】 日本語教育部門

【研究分野】 言語テスト, 言語接触

### 【研究活動】

#### ②論文

1. 豊田哲也・孫媛・島田めぐみ・谷部弘子 (2015) 「eラーニングのログデータを用いた日本語学習についての分析」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第18号、東アジア日本語教育・日本文化研究学会、pp.1-15
2. 孫媛・島田めぐみ・谷部弘子 (2015) 「日本語学習支援のための認知診断テストの開発」『第二言語としての日本語の習得研究』第18号、第二言語習得研究会、86-102
3. 董博・島田めぐみ (2016) 「高校日語専業期末テスト項目分析的基礎研究」『大連大学学报』Vol.37 No.1、1-8

#### ③口頭発表

1. 島田めぐみ (2015) 「ハワイにおける日本語語彙共通語化に関する事例研究」、公開研究会「アジア・太平洋の日本語と日本語教育を考える会」第3回「ハワイの日本語の記録と分析」首都大学東京、2015.7.17
2. 島田めぐみ・孫媛・豊田哲也・谷部弘子 (2015) 「ブレンド型授業に対する学習者の意識と学習効果」『6<sup>th</sup> International Conference on Computer Assisted Systems for Teaching & Learning Japanese』CASTEL/J、ハワイ大学カピオラニコミュニティーカレッジ、2015.8.7
3. 島田めぐみ・谷部弘子・孫媛 (2015) 「日本語文法認知診断テストの開発—内容分析を中心に—」『東アジア日本語教育・日本文化研究学会2015年度国際学術発表大会発表要旨文』p.39、西南学院大学、2015.8.22
4. 豊田哲也・島田めぐみ・谷部弘子・孫媛 (2015) 「日本語学習eラーニングシステムにおける学習者の小テストの学習活動分析」『東アジア日本語教育・日本文化研究学会2015年度国際学術発表大会発表要旨文』p.36、西南学院大学、2015.8.22
5. ピートン・シッタラット・姜麗・董博・宗甜甜・島田めぐみ「「はい」と「ええ」の使い分けに関する研究—日本語教科書と映像作品における使用の比較—」『東アジア日本語教育・日本文化研究学会2015年度国際学術発表大会発表要旨文』p.51、西南学院大学、2015.8.22
6. 登藤直弥・孫媛・島田めぐみ・Yi SUN (2015) 「個人正答確率と受験者の回答傾向との関係—日本語教育のデータを用いた検証—」日本計算機統計学会第29回シンポジウム、まなぼつと幣舞(釧路)、2015.11.28
7. 葦原恭子・奥山貴之・塩谷由美子・島田めぐみ (2016) 「高度外国人材に求められるビジネス日本語フレームワークの構築—直感的手法を中心に—」『沖縄県日本語教育研究会第13回大会予稿集』、pp.25-27、琉球大学

### 【教育活動】

留学生センター開設科目

(春学期) 「日本語4総合A」「日本語2会話A1」

(秋学期) 「日本語2文法B」

学部開設科目

(春学期) 「日本語教育概論」

(秋学期) 「日本語文法論」「言語学研究法」

大学院開設科目

(春学期) 「多言語多文化教育学特論 (ce)」

(秋学期) 「多言語多文化教育研究法 (cm)」

### 【その他の活動】

#### ①学内

1. 研究専門委員会委員
2. 制度人事委員会委員
3. 国際戦略推進本部 ISSUP 部会
4. 協定校コーディネーター (ハワイ大学ヒロ校, エアランゲン=ニュルンベルク大学)

#### ②学外

1. 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「日本語文法認知診断テストの開発」 (研究代表者)
2. 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「高度人材に求められるビジネス日本語フレームワーク構築のための調査研究」 (研究分担者)
3. 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 共同研究員
4. 国立大学日本語教育研究協議会 理事
5. 日本語教育学会 学会誌委員会副委員長

### 【所属学会】

日本語教育学会, 日本言語テスト学会, 日本テスト学会, 日本移民学会, 社会言語科学会, 東アジア日本語教育日本文化学会

## ■許 夏玲

- 【所属部門】 日本語教育部門  
【研究分野】 談話分析, 語用論, 対照言語研究

### 【研究活動】

#### ① 著書

1. 『文系の作文技術』 白帝社
2. 「第 5 章 語用論の観点から見た否定疑問文と配慮行動の研究」  
『わたしの考える日本語教育』 溪水社, pp. 93~112

#### ② 論文

1. 「日本語学習者向けの擬音語・擬態語の学習指導」  
『東京学芸大学紀要総合教育科学系 II 』 第 67 集, pp. 399~407
2. 「コンピューター型のピア・レスポンスに見られる相互学習の効果-e ポートフォリオの活用を通じて-」『日本学刊』 18 号, pp. 64~76, 香港日本語教育研究会

#### ③ 口頭発表

- 「勧誘の場面で用いられる否定疑問文はなぜポライトな表現になるのか」  
社会言語科学会第 37 回大会 (日本大学文理学部 2016.3.20)

### 【教育活動】

1. 留学生センター開設科目  
(春学期) 「日本語 1 文法 A」, 「日本語 2 総合 A」, 「日本語 3 漢字 A」  
(秋学期) 「日本語 2 作文 B1」, 「日本語 3 メディアリテラシー B」, 「日本語 3 漢字 B」  
大学院開設科目  
(春学期) 「日本語研究特論 C」 「日本語教育特別研究 III」  
(秋学期) 「日本語研究特論 D」 「日本語教育特別研究 IV」
2. 自主日本語ゼミ (春学期・秋学期) 月 1 回
3. 学芸カフェテリア・ランチ講座「海外学校教育事情」(春学期週 1 回、計 9 回)
4. 講演会「大連の日本語教育」(講師 董博氏 [大連外国語大学日本語学部]) (4 月 22 日)
5. 修了生によるキャリアトーク(講師 荒井直美氏 [長崎大学多文化社会学部]) (11 月 2 日)

### 【その他の活動】

#### ① 学内

1. 教育学研究科国語教育専攻日本語教育コース代表
2. 入試情報委員会委員
3. 「IT 漢字自習教材のコンテンツの制作」 教育研究整備充実費  
(許夏玲、島田めぐみ、谷部弘子)

#### ② 学外

1. 第 13 回名古屋日本語教育研究集会 (名古屋大学)・司会 2015. 8
2. 第 3 回小金井市主催外国人スピーチコンテスト・審査員 2015. 7
3. 小金井第 4 小学校「こども祭り」(留学生コーナー)・交流活動 2015. 6
4. 『語用論研究』 17 号 (日本語用論学会) 査読協力 2015. 5

### 【所属学会】

日本語教育学会, 社会言語科学会, 日本語用論学会, 香港日本語教育研究会

## ■谷部弘子

【所属部門】 日本語教育部門

【研究分野】 日本語教育, 日本語学

### 【研究活動】

#### ①著書 [教材]

1. 『(新版) BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— VOL.1』 凡人社 (東京), 2015.5 (加納千恵子・清水百合・谷部弘子・石井恵理子)
2. 『(新版) BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— VOL.2』 凡人社 (東京), 2015.9 (加納千恵子・清水百合・谷部弘子・石井恵理子)

#### ②論文

1. 「日本語のスピーチスタイルに対する学習者の意識—短期留学生へのインタビューから—」『ことば』36, 34-47, 2015.12
2. 「日本語学習支援のための認知診断テストの開発」『第二言語としての日本語の習得研究』18 (特集 第二言語習得と評価), 86-102, 2015.12 (孫媛・島田めぐみ・谷部弘子)

#### ③口頭発表

1. 「ブレンド型授業に対する学習者の意識と学習効果」CASTEL-J (Computer Assisted Systems For Teaching & Learning Japanese 国際会議), アメリカ・ホノルル, ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ, 2015.8.7 (島田めぐみ・孫媛・豊田哲也・谷部弘子)
2. 「日本語文法認知診断テストの開発—内容分析を中心に—」東アジア日本語教育・日本文化研究学会 2015年度国際学術大会, 福岡, 2015.8.21 (島田めぐみ・谷部弘子・孫媛)
3. 「日本語学習eラーニングシステムにおける学習者の小テストの学習活動分析」東アジア日本語教育・日本文化研究学会 2015年度国際学術大会, 福岡, 2015.8.22 (豊田哲也・島田めぐみ・谷部弘子・孫媛)
4. 「日本語環境は短期留学生の対話能力にどのような作用を及ぼすか」AJE 第19回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム, フランス・ボルドー, ボルドー・モンテーニュ大学, 2015.8.28 (谷部弘子・高橋美奈子・本田明子)

#### ④その他

1. 報告「日本語学習者の言語行動のバリエーションから見た日本語教育研究」北京日本学研究所設立30周年記念国際シンポジウム「アジアにおける日本研究の可能性」主題別フォーラム「多様な視点から考える日本語教育研究」, 中国・北京, 北京日本学研究所センター, 2015.10.25

### 【教育活動】

#### 留学生センター開設科目

(春学期) 「日本語1 特別演習 (時事日本語) A」「日研生特別演習A」

(秋学期) 「日本語4 総合B」「日本語2 漢字B」「日研生特別演習B」

#### 学部開設科目

(春学期) 「学芸フロンティア科目F」

#### 大学院開設科目

(春学期) 「多言語多文化教育研究法」

(秋学期) 「多言語多文化教育学特論」

## 【その他の活動】

### ①学内

1. 協定校コーディネーター (中国・ジャムス大学) (インドネシア・インドネシア教育大学)
2. 国際戦略推進本部・外国人留学生の受入れとグローバル人材の養成プロジェクト実施部会 (ISSUP) 委員
3. 安全衛生委員会委員

### ②学外

1. 科学研究費 基盤研究 (C) 「日本語学習者の言語行動のバリエーション獲得に関する研究」 (2013年度～2015年度) (研究代表者)
2. 科学研究費 基盤研究 (B) 「日本語の漢字力評価に関する研究」 (2015年度～2017年度) (研究分担者) (研究代表者：加納千恵子)
3. 科学研究費 基盤研究 (C) 「日本語文法認知診断テストの開発」 (2014年度～2016年度) (連携研究者) (研究代表者：島田めぐみ)
4. 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 共同研究員
5. JICA 日本語教育支援委員会委員
6. JICA 技術専門委員・技術補完研修講師
7. 東京外国語大学留学生日本語教育センター 教育関係共同利用拠点運営委員会委員
8. 日本語教育学会 大会委員会委員長
9. 小金井市生活日本語教室講習会講師 (2015.9)

## 【所属学会】

日本語教育学会, 海外日本語教育研究学会, 日本語学会, 社会言語科学会, EAJS (ヨーロッパ日本研究協会), 東アジア日本語教育日本文化学会

**資料 1** 日本語科目（日本語 1～5）一覧（\*印は学部開設科目）

2015 年度春学期

科目名	担当教員	曜日・ 時限
日本語 1 総合 A	東泉裕子	木 2
*日本語 1 作文 A1 [専門日本語・ライティング I]	阿部志野歩	火 1
日本語 1 作文 A2	笹目実	月 2
日本語 1 講読 A1	澁川晶	水 2
日本語 1 講読 A2	新谷あゆり	金 3
*日本語 1 会話 A1 (専門日本語・口頭コミュニケーション I)	矢沢悦子	火 2
日本語 1 会話 A2	笹目実	金 4
日本語 1 文法 A	許夏玲	月 3
日本語 1 聴解 A	澁川晶	木 3
日本語 1 漢字 A	小池恵己子	木 4
*日本語 1 特別演習 A (ビジネス日本語) [専門日本語・ビジネス I]	許 哲	金 2
日本語 1 日本語特別演習 A (時事日本語)	谷部弘子	月 5
日本語 1 日本語特別演習 A (ドラマで学ぶ日本語)	宮本典以子	月 4
日本語 1・2 日本語特別演習 A (プロジェクト)	谷部弘子	火 3
日本語 1・2 発音 A	斎藤純男	火 5
日本語 2 総合 A	許夏玲	水 1
日本語 2 作文 A1	澁川晶	火 2
日本語 2 作文 A2	桂千佳子	水 2
日本語 2 講読 A1	福島恵美子	木 3
日本語 2 講読 A2	笹目実	金 3
日本語 2 会話 A1	島田めぐみ	月 3
日本語 2 会話 A2	澁川晶	木 2
日本語 2 文法 A	岡智之	木 4
日本語 2 漢字 A	横山和子	月 4
日本語 2 聴解 A1	澁川晶	火 4
日本語 2 聴解 A2	鈴木美恵子	金 2
日本語 2 日本語特別演習 A (マンガで学ぶ日本語)	宮本典以子	月 5
日本語 2 日本語特別演習 A (ビジネス日本語)	小野塚若菜	金 4

日本語 1・2 日本語特別演習 A (プロジェクト)	谷部弘子	火 3
日本語 1・2 発音 A	斎藤純男	火 5
日本語 3 総合 A1	伊能裕晃	火 3
日本語 3 総合 A2	伊能裕晃	火 4
日本語 3 作文 A	宮本典以子	水 1
日本語 3 講読 A1	小池恵己子	木 3
日本語 3 講読 A2	新谷あゆり	金 4
日本語 3 会話 A1	横山和子	月 2
日本語 3 会話 A2	福島恵美子	木 4
日本語 3 漢字 A	許夏玲	金 2
日本語 3 文法 A	石崎晶子	木 2
日本語 3 聴解 A	小野塚若菜	金 3
日本語 4 総合 A	笹目実	月 1
	島田めぐみ	月 2
	桂千佳子	水 1
	東泉裕子	木 1
	鈴木美恵子	金 1
日本語 4 漢字 A	李 貞旻	水 2
日本語 5 総合 A	桂千佳子	月 1 月 2
	今井美登里	火 1 火 2
	宮本典子	木 1 木 2
	飯野清士	金 1 金 2
日本語 5 聴解 A	石崎晶子	木 3
日本語 5 作文 A	李 貞旻	水 1
日本語 5 漢字 A	横山和子	月 3
	斎藤純男	水 2

## 2015 年度秋学期

科目名	担当教員	曜日・ 時限
日本語 1 総合 B	澁川晶	月 4
*日本語 1 作文 B1 [専門日本語・ライティング I]	阿部志野歩	火 1
日本語 1 作文 B2	桂千佳子	水 1
日本語 1 講読 B1	李貞暎	木 4
日本語 1 講読 B2	新谷あゆり	金 3
*日本語 1 会話 B1 (専門日本語・口頭コミュニケーション I)	矢沢悦子	火 2
日本語 1 会話 B2	小池恵己子	木 3
日本語 1 文法 B	岡智之	火 3
日本語 1 聴解 B	横山和子	月 3
日本語 1 漢字 B	東泉 裕子	木 2
*日本語 1 特別演習 B (ビジネス日本語) [専門日本語・ビジネス I]	西島道	金 2
日本語 1 日本語特別演習 B1 (小説)	奥山貴之	月 2
日本語 1 日本語特別演習 B2 (小説)	笹目実	月 2
日本語 1 日本語特別演習 B (ドラマで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 2
日本語 2 総合 B	横山和子	月 4
日本語 2 作文 B1	許夏玲	月 5
日本語 2 作文 B2	桂千佳子	水 2
日本語 2 講読 B1	澁川晶	火 4
日本語 2 講読 B2	新谷あゆり	金 4
日本語 2 会話 B1	李貞暎	木 3
日本語 2 会話 B2	笹目実	金 1
日本語 2 文法 B1	島田めぐみ	火 5
日本語 2 文法 B2	鈴木美恵子	金 2
日本語 2 漢字 B	谷部弘子	火 2
日本語 2 聴解 B	李賢淑	月 2
日本語 2 日本語特別演習 B (マンガで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 1
日本語 2 日本語特別演習 B (ビジネス日本語)	福島恵美子	木 4
日本語 3 総合 B1	伊能裕晃	火 3
日本語 3 総合 B2	伊能裕晃	火 4

日本語3 作文B	斎藤純男	金4
日本語3 講読B	小池恵己子	木4
日本語3 会話B1	福島恵美子	木3
日本語3 会話B2	笹目実	金2
日本語3 漢字B	許夏玲	月3
日本語3 文法B	岡智之	火2
日本語3 聴解B	石崎晶子	木2
日本語3 日本語特別演習B (メディアで学ぶ日本語)	許夏玲	金3
日本語4 総合B	笹目実	月1
	横山和子	月2
	谷部弘子	水1
	鈴木美恵子	木1
	東泉裕子	金1
日本語4 漢字B	李 貞旻	水2
日本語5 総合B	桂千佳子	月1 月2
	今井美登里	火1 火2
	宮本典子	木1 木2
	飯野清士	金1 金2
	石崎晶子	木3
日本語5 会話B	渋谷晶	月3 火3
日本語5 作文B	李 貞旻	水1
日本語5 漢字B	斎藤純男	水2
	斎藤純男	金3

**資料2** 日本理解科目一覧

2015 年度春学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本理解 A (教育)	戸田孝子	火 5
日本理解 C (人文)	佐伯英子	水 2
日本理解 E (人文)	高崎 恵	水 1
日本理解 G (自然)	目代邦康	金 1
多文化共修科目 A「異文化理解とコミュニケーション」	岡 智之	木 1
多文化共修科目 C「世界の言語と文化」	斎藤純男	月 1

2015 年度秋学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本理解 B (教育)	小林正泰	木 2
日本理解 D (人文)	千田洋幸	月 5
日本理解 F (社会)	加藤 拓	金 2
日本理解 H (芸術)	石井 健	金 3
多文化共修科目 B「多文化社会とコミュニケーション」	岡 智之	月 1
多文化共修科目 D「世界の民族と文化」	佐伯英子	木 1

**資料3** 短期留学プログラム (ISEP) 科目一覧

2015 年度春学期

	科目名	授業担当教員
1	ISEP Seminar II	佐伯 英子 (留学生センター)
2	Cross-Cultural Ideas and Activities	戸田 孝子 (国際教育教室)
3	School in Japan	浅沼 茂 (国際教育教室)
4	Counseling in Japan	佐野 秀樹 (カウンセリング教室)
5	Introduction to Psychophysiology	池田 一成 (学校心理教室)
6	Cross-Cultural Representations and Practice	Joshua P. Dale (英語科教室)
7	Tokyo - A Multi-disciplinary Approach	佐伯 英子 (留学生センター)
8	Exploring the Cultural Diversity of Japan (I)	佐伯 英子 (留学生センター)
9	Theatre Workshop	高尾 隆 (表現コミュニケーション教室)
10	Recreation and Sports in Japan : Cycling	渡辺 雅之 (保健体育科教室)
11	Japanese Budo: Judo	射手矢 岬 (生涯スポーツ教室)
12	Recreation and Sports in Japan: Aquatic Sports (Swimming)	岩本 良裕 (保健体育科教室)
13	Geography of Japan I: Blue Tourism in Izu Islands (Izu Oshima) of Tokyo Prefecture	古田 悦造 (日本研究教室)

## 2015 年度秋学期

	科目名	授業担当教員
1	ISEP Seminar I	佐伯 英子 (留学生センター)
2	Education in Japan	渋谷 英章 (国際教育教室)
3	Cross-Cultural Teaching Practice	戸田 孝子 (国際教育教室)
4	Introduction to Contemporary Japanese Society	オムニバス(伊藤由希子・岩元明敏・上杉嘉見・斎藤一久・佐伯英子・椿真智子・長谷川正・原子栄一郎・馬淵貞利・宮下政司)
5	Philosophy and Ethics in Japan	栗原 裕次 (社会科教室)
6	"Japan Cool" Abroad: Analysis and Fandom	Joshua P. Dale (英語科教室)
7	Exploring Cultural Diversity of Japan (II)	佐伯 英子 (留学生センター)
8	Inequality and Social Policies	佐伯 英子 (留学生センター)
9	Study of Japanese Print-Making	清野 泰行 (美術科教室)
10	Recreation and Sports in Japan I : Table Tennis	渡辺 雅之 (保健体育科教室)
11	Geography of Japan II: Geography of Seaside and Downtown Area in Tokyo	古田 悦造 (日本研究教室)
12	Japanese Business Enterprises	原田和雄 (自然環境科学教室)
13	Recreation and Sports in Japan II : Skiing	岩本 良裕 (保健体育科教室)

資料4 主な行事の写真

国際交流合宿（館山）



留学生支援交流室



国際交流カフェ、アジアカフェ



春のハイキング（お鷹の道・真姿の池）



多文化交流合宿（八王子セミナーハウス）



国会議事堂見学（日本語日本文化研修留学生）



## 資料 5

### 各種プログラム概要

#### ■日本語日本文化研修留学生 プログラム概要 (2015.10～)

##### 1 研修内容

以下の6分野に分かれています。

- |           |            |             |
|-----------|------------|-------------|
| (1) 日本語科目 | (2) 日本理解科目 | (3) 日研生特別演習 |
| (4) 専門研究  | (5) 個人研究   | (6) 文化交流    |

##### (1) 日本語科目

各学期のはじめにプレースメントテストがあります。留学生対象の日本語科目を受講したい人はかならず受けてください。

留学生対象の日本語科目は「選択科目」です。日本語力が十分にある人は、専門研究を通して日本語力を高めることもできます。

##### (2) 日本理解科目

留学生対象の日本理解に関する科目として、「日本理解」8科目(秋学期:B, D, F, H、春学期:A, C, E, G)、「多文化共修科目」4科目(秋学期:B, D、春学期:A, C)があります。これらの科目は「選択必修科目」です。この中から最低2科目を選んで受講してください。

##### (3) 日研生特別演習

日研生のための「日研生特別演習Ⅰ」(秋学期)・「日研生特別演習Ⅱ」(春学期)があります。これらは「必修科目」です。かならず出席してください。

##### (4) 専門研究

自分の研究テーマや興味・関心、日本語力を考えて、指導教員とよく相談し、必要な科目を選択してください。留学生対象科目以外に学部の開設科目も受講できます。

##### (5) 個人研究

研修終了までに、レポートにまとめて提出します。テーマについては、指導教員とよく相談してください。「日研生特別演習Ⅱ」の時間帯で、レポートの内容について発表してもらいます。

##### (6) 文化交流(学生交流、地域交流、見学旅行ほか)

大学の企画のほかに、民間団体や自治体主催のホームステイ・プログラムや小中学校の国際理解プログラム、地域の行事などがあります。大学に案内がきた場合は、国際課の掲示板に掲示しますので、各自で申し込んでください。

##### 2 修了証書と修了要件

1年間の研修を終え、その成果を指導教員が認めたものについては、本学学長名において修了証書を授与します。修了のためには、つぎの4点が必要です。

- a. 上記(2)を2科目以上履修すること

- b. 上記(3)の2科目を履修すること
- c. 上記(1)～(4)まで合わせて12科目以上履修すること
- d. 上記(5)のレポートを期限までに提出すること

\*毎学期、6科目以上履修しなければなりません。

8月の時点で以上4点が確認できないと、プログラム修了と認められません。

## ■ISEP プログラム概要

ISEP (International Student Exchange Program)では留学生向けに幅広いトピックの授業を英語で開講しています。また、教室で行われる通常の授業の他に、音楽、美術、運動のクラスや、フィールドスタディーのクラスもあります。ISEP生はその他に、ISEP セミナーに出席し、各自で決めた研究テーマの理解を深めるため、指導教員の指導のもと、調査を行いレポートにまとめます。

## ■授業

以下の6分野にわかれています。

### 1. ISEP 科目

授業は英語で行われます。全ての留学生が履修することができます。

### 2. ISEP セミナー

秋学期、春学期共に開講され、必修科目です。

### 3. 個人研究

ISEP生は全員、個人研究に取り組みます。秋学期の終わりに研究計画書、春学期の終わりには最終レポートを提出する必要があります(秋学期のみの参加者は秋学期の終わりまでに最終レポートを提出します)。レポート提出後は指導教員と ISEP 教員等の前で発表をします。

### 4. 日本語科目

ISEP生はそれぞれのレベルに合わせた日本語の授業を取ることができます。レベルは5(初級)から1(上級)まであり、プレースメントテストの結果によって履修するレベルが決まります。

### 5. 日本理解科目

日本語能力の高い留学生は、留学生向けに日本語で行われる「日本理解科目」を受講することもできます。また、留学生と日本語を母語とする学生が共に同じ教室で学ぶことのできる「多文化共修科目」を履修することもできます。

### 6. その他の授業

日本語能力の高い ISEP 生は東京学芸大学で開講されている一般学生向けの授業を履修することもできます。全ての講義は日本語で行われるため、留学生の語学力によって履修できるかどうかが決まります。

ISEP 生は 1 学期に 14 単位以上の授業を履修しなければなりません。そのうち 9 単位は ISEP 科目と個人研究である必要があります。

- ISEP 科目 = 1 または 2 単位
- 個人研究 = 1 学期につき 1 単位
- 日本語科目 = 1 授業につき 1 単位
- 日本理解科目 = 2 単位
- 学部生向けのその他の授業 = 1 または 2 単位

## ■教員研修プログラム

### 1. プログラムの目的

教員研修留学生プログラムは、本国で教育ないし教育行政にたずさわる人が日本の大学の教員養成学部において 18 か月間の研修を行い、その成果を帰国後に本国で生かしてもらおうというものである。

研修留学生の専門の研究はそれぞれ所属の研究室にておこなうが、日本語の運用能力を身につけずに来日した場合は、初めの 1 学期間、留学生センターの日本語コースにて 1 週間 14 コマ×15 週間の集中コースを受講する。

### 2. 研修内容

#### 2-1 専門教育

指導教員の指導のもとで、研修生の希望、個人研究のテーマ、日本語能力などを考慮して履修科目を決定する。

#### 2-2 個人研究

本人の希望する研究テーマについて、指導教員の指導の下で研究し、研修終了時までその成果をレポートにまとめ、提出する。これは報告書として刊行される。 Students are required

#### 2-3 見学実習

附属学校・教育行政機関・施設などの参観、地域の文化活動への参加、日本人学生との交流、見学実習などを必要に応じて実施する。

#### 2-4 日本理解科目

下記の 2 科目以上を履修しなければならない。

- ① 年度ごとに指定する科目の中から1科目以上。
- ② 「日本理解科目A～H（春学期ACEG、秋学期BDFH）」、「多文化共修科目A～D（春学期AC、秋学期BD）」、「短期留学プログラム（ISEP）講義科目・フィールド科目」のすべての科目の中から1科目以上を履修する。（①+②で2科目以上）

科目とその概要については各学期のはじめに案内する。日本理解科目の一覧表は留学生センターのホームページに掲載されている。

#### **2-5 特別演習 Special Seminar**

最初の秋学期のみ数回特別演習が行われる。

#### **2-6 日本語科目 Japanese-Language Courses**

日本語科目はプログラムの必修科目ではないが、履修を希望する者はかならずプレースメントテストを受け、その結果にしたがって指示されるクラスで受講する。

#### **2-7 修了証書 Certificate of Completion**

所定の研修を終え、その成果を指導教員が認めた者については、本学学長の名において修了証書を授与する。

2015 年度 東京学芸大学留学生センター 年報  
2016 年 5 月 11 日発行  
編集・発行 東京学芸大学留学生センター  
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1